

コミュニティバス鹿ノ台線の利用実績

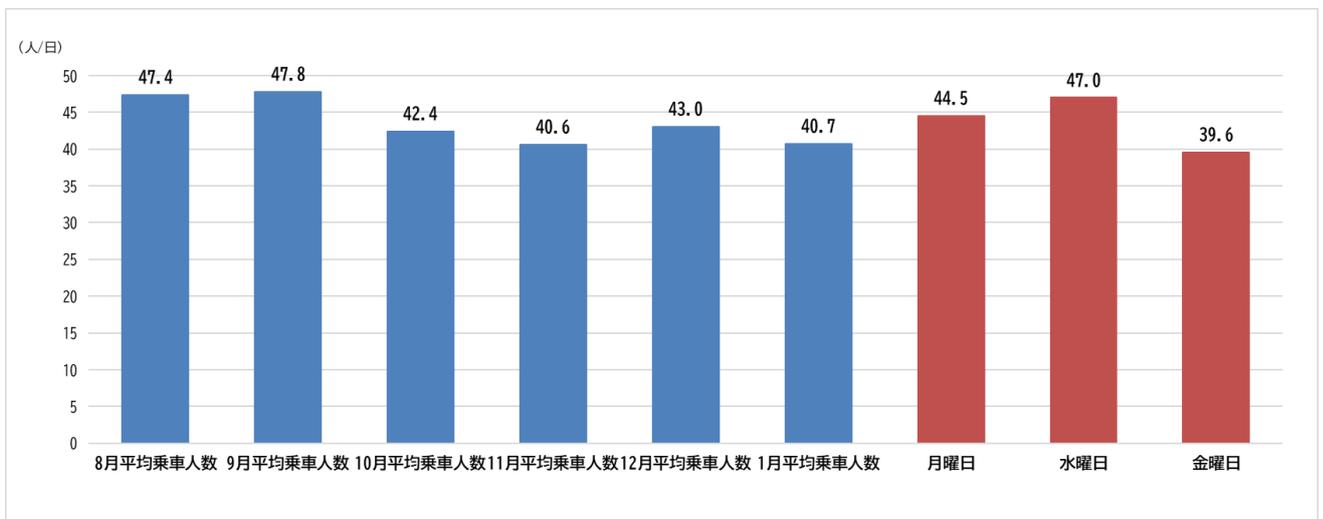
令和4年8月1日から実証実験運行を開始した鹿ノ台線の利用状況を報告する。

期間：令和4年8月～令和5年1月

1. 月別、曜日別の乗車人数の推移

・乗車人数は8月、9月、10月、11月、12月、1月がそれぞれ1日平均47.4人（5.9人/便）、47.8人（6.0人/便）、42.4（5.3人/便）人、40.6（5.1人/便）人、43.0（5.4人/便）人、40.7（5.1人/便）人であった。当初は利用者への定着から増加を予測していたが、11月まで減少し、12月には増加し、1月は減少した。曜日別の利用者は、水曜日、月曜日、金曜日の順に利用者が多い。

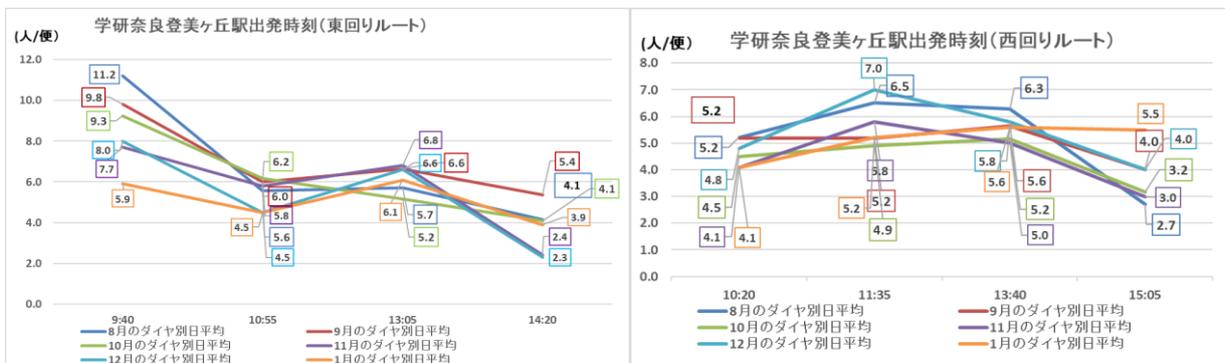
【月別の1日あたりの乗車人数の推移】



2. ダイヤ別乗車人数

・ダイヤ別乗車人数は、下記のとおりである。

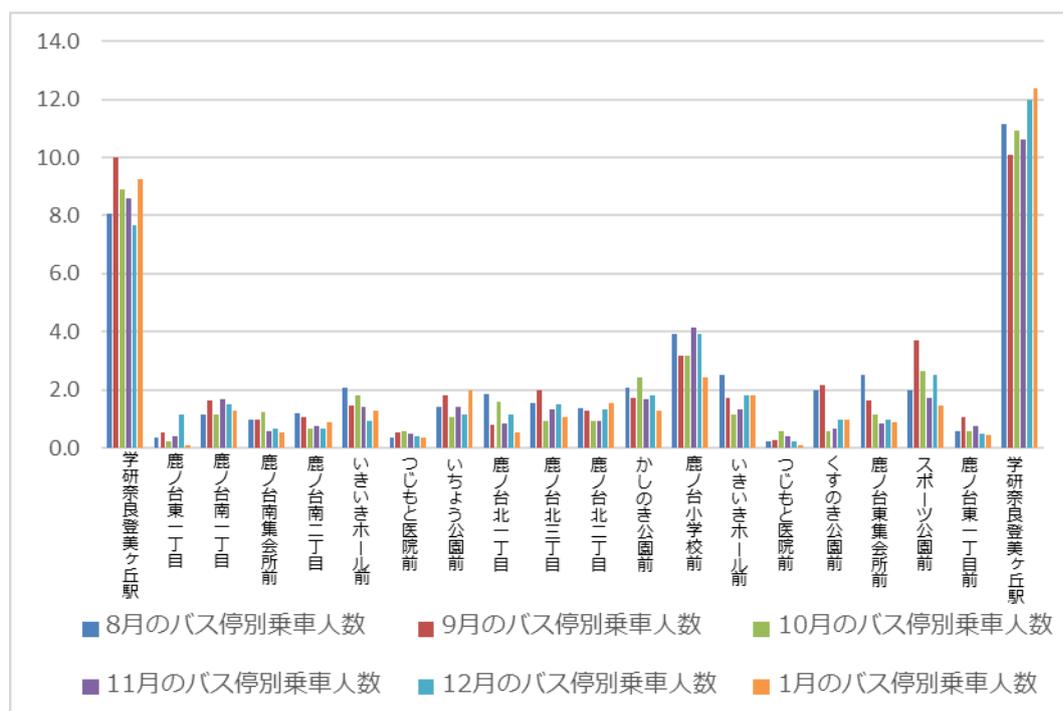
【ダイヤ別の1日あたりの乗車人数】



3. バス停別乗車人数

- ・バス停別の乗車人数は、起終点である学研奈良登美ヶ丘駅の利用が最も多い。学研奈良登美ヶ丘駅以外では、鹿ノ台小学校前やいきいきホール前、スポーツ公園前の利用が多い。
- ・最近数ヶ月で、特に利用が増えているバス停は、学研奈良登美ヶ丘駅（東ルート）、鹿ノ台小学校前である。

【バス停別の1日あたりの乗車人数】



4. 利用状況（まとめ）

- ・住民への周知が進むことで利用者の増加を見込んでいたが、開始6カ月目（1月）まで、減少傾向である。これは、例年他路線のコミバスの実績において、冬場にかけて減少傾向が見られることや、1月については、他路線において悪天候による運休日も発生していることから、鹿ノ台線についても、同様の傾向が見られると考えられる。
- ・利用者数の内訳として、水曜日が最も多く、金曜日が最も少ない、また、始発が最も多く、14:20発の便が最も少ない等の結果であった。
- ・今後、本格運行に向けては、これらの傾向を分析するとともに、利用者のニーズを確認するなどし、ダイヤ・曜日の変更の必要性について検討していく。